

にこにこブックを使ってみよう

◎にこにこブックって何？

日々の支援や工夫を、新しい支援者や初めて接する人に伝えて子どものことを知ってもらい安全に楽しく支援してもらうためのツールです。

◎どんな時に使うの？

入園、入学、進級など新しい環境での生活が始まる時
病院の受診や相談のとき など。

◎どうやって書くの？

まずは書きやすいところ、必要なところから書いていきます。すべて書く必要はありません。支援者に知ってほしいことを「〇〇すればできます」と具体的な援助方法を書いてください。文字で伝えにくいことは、写真や絵などで書いておくと効果的です。

◎書くときに心がけること

お子さんができないことを書いても適切な支援にはつながりません。「こうするとできるよ」を基本にしましょう。

成長と共にできることも変わり、援助も変わっていきます。定期的に（半年～1年に1回）見直し、書き替えながら使ってください。定期的にチェックするとお子さんの成長を感じることもできます。

◎ページが足りなくなったときは？

市HPからダウンロードできます。こどもの発達センターでもお渡しできますのでお問い合わせください。

市HP：ホーム⇒暮らしのガイド⇒妊娠・出産・子育て
⇒こどもの発達センターにこにこ（6. 個別支援手帳「にこにこブック」の配布）

リンク先：<https://www.city.owariasahi.lg.jp/kurasi/kosodate/sien/hattatsacenter.html>

◎管理に気をつけましょう

お子さんの大切な情報がたくさん詰まっています。取り扱いには十分注意しましょう。

文字が読めるお子さんは、にこにこブックの内容も読むことができます。本人はもちろんご兄弟が見て傷ついてしまうこともあるかもしれません。管理する場所も工夫しましょう。

すくすく のびのび
尾張旭市



問い合わせ先 こどもの発達センター にこにこ
〒488-0074

尾張旭市新居町明才切 57 番地

尾張旭市保健福祉センター3階

TEL (0561) - 53-6103

サポート情報（P5）

名前

（記入日： 年 月 日）

【このシートは肢体に不自由がある場合を想定していますが、必要に応じてどなたでも記入して下さい。】

自立：自分でできる 一部介助：一部介助が必要 全介助：全て介助が必要

項目			自立	一部介助	全介助	記入者（ ）
			＊当てはまる欄に○印			状態および必要な介助
身体面	移動 歩行	室内				
		戸外				
	姿勢	立った状態				
		座った状態				
		寝返り				
		起き上がり				
		車に乗る時				
	視力	右：				
	聴力	右：				
	その他					
生活面	食事	手づかみ	する ・ しない			
		スプーン使用				
		箸の使用				
		コップ・ストロー				
		その他の方法				
	排泄	排尿				
		排便				
	着脱	シャツ				
		ズボンなど				
		下着（上・下）				
		靴				
		帽子				
	清潔	歯磨き				
		手洗い				
		顔を洗う				
		整髪				
		入浴				
	睡眠	睡眠時間 （ ： ～ ： ）	昼寝 （ ： ～ ： ）			
	その他					

・細かな援助方法は、それぞれの年齢の成長記録（P7～）に記入できます。

・専門用語はなるべく避け、誰にでもわかりやすい言葉で記入する方がいい場合もあります。

・お子様の成長によって支援も変わっていきます。新しいページを増やす、色を変えて書き足すなど工夫して使うとよいでしょう。

補装具・自助具について(P6)

補装具名	補装具名
使用方法・留意点	使用方法・留意点
写真・イラスト	写真・イラスト

・バギー、車いす、補装靴など、お子さんが普段使っている物の扱い方や、注意することを書きます。

・医師からの指示・意見なども書いてください。

・装着した時の正しい姿勢を写真で記録されているとわかりやすいですね。

【必要な補装具についての写真・装具の名称および留意点などを記入して下さい。】

成長の記録(必要なところだけ記入) (P8)

名前

	1 歳 6 か月 児 健 診 受診日： 年 月 日	2 歳 3 か月 児 健 康 相 談 受診日： 年 月 日	3 歳 児 健 診 受診日： 年 月 日
健診の記録	・乳幼児健診での様子などを記入します。 (例) 保健師さんを見て緊張した様子。 でも、しばらくすると安心して声を出し始めた。		
	日頃の様子	日頃の様子	日頃の様子
体の動き	・歩き始めはいつかな？ ・走ったり、階段を上ったりするときはどんな様子？ (例) 片手を支えると階段を登れる。		
人との関わり	・言葉の様子は？どうやって思いを伝えているかな。 ・家族以外の人との関わりや人見知りや場見知り。 (例) 欲しいものがあると「あー」と言って指さす。		
遊び	・好きな遊びは何かな？(室内、戸外、散歩など) ・どうやって遊んでいますか？ (例) 一人遊びが好き、ママと一緒になら友達の近くで遊べる。		
健康	薬の種類・投薬の時間 アレルギーなど健康上の留意点	薬の種類・投薬の時間 アレルギーなど健康上の留意点	薬の種類・投薬の時間 アレルギーなど健康上の留意点
睡眠	・寝かしつけ方や安心して眠れる方法など (例) 決まったタオルを持っていると安心して眠れる。		
その他	・子育て支援機関(子育て広場、子育て支援センター、児童館、ピンポンパン教室、幼稚園のふしなど)での様子なども書いておくといいですね。 (例) 朝の会の「はあい」ができるようになった。		

成長の記録（必要なところだけ記入）（P9）

名前

3歳

(

) 幼稚園・保育園

記入日：

年

月

日

子どもの良いところ

親の願い

心配なこと

・子どもの姿→何がどの程度できるかを書きます。
 ・どういう援助でどうしたらできるのか、わかるのかが具体的に書かれているとわかりやすいです。

食事・睡眠

好きな食べ物()
 嫌いな食べ物()
 偏食：なし・あり()
 食べ方：手づかみ・スプーン・フォーク・はし
 睡眠時間： ： ～ ：

衣服の着脱・排

言葉

指示理解

身体の動き

からだ全体・手指など

遊び

室内・戸外

人との関わり

集団での様子

健康

薬の種類・投薬の時間、アレルギーなど

通院・通所

医療・療育機関など

【援助・支援のポイント】

・お子さんには、どのように伝えるとわかりやすいかなど、働きかけのポイントを書きます。
 （例）目で見えてわかるように知らせると、本人にわかりやすいです。
 前もって予告をすると、嫌がらずに受け入れられます。



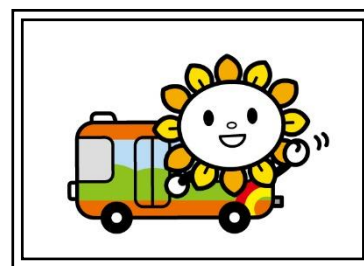
おもいで・エピソード(P18～20)

年 月 日

- ・この欄は、日記や成長記録のように使えます。
- ・子どもとの楽しかったエピソードなどを書きます。
- ・写真を貼ってもいいですね。

令和〇年 〇月 〇日

(例) お散歩中、あさびーバスが横を通りすぎると「バス！バス！」と大喜び。帰ってからも家にある図鑑でもバスをずっと見ている〇〇君。
バスが大好きになったみたい♡



表現の仕方(P21)

記入日（ 年 月 日）

<うれしいとき>

<困ったとき>

（例）両親には話せる。両親以外の人の前では
もじもじとしている。声をかけると答えら
れる。

<怒ったとき>

（例）「いや」と大きな声で言う。

<不安なとき>

（例）部屋の端の狭い隙間に行く。

<悲しいとき>

<つらいとき>

<その他>

どんな様子になるの
かを書いてね！
写真もいいですね。



- ・この欄は、具体的な子どもの姿（表情や声、動作など表現の仕方）や対応を書きます。
- ・安心できる相手（両親、祖父母、支援者）や環境なども書いておきます。状況によって違いがある場合には、そのことも書いておくとうわかりやすいですね。
- ・大人が子どもに禁止を伝える時、本人に伝わりやすい言葉などもあれば書いてください。（「ダメ」という言葉は受け入れづらい子も、両手でぼつ×を作ると聞き入れてくれるということもあります。）